

# 田中康夫

今月の憂い「ト」

日ロ首脳会談から、  
パール・ハーバー訪問、  
カジノーR法案、  
天皇の生前退位まで。

2017年最初の憂国呆談は、  
東京・北青山の「TRUNK(HOTEL)開業準備室」で行われた。  
「80年代、ここはディスコの『キング&クイーン』だったよ」と  
懐かしむ田中氏と、「今はずいぶんソーシャルになって」と浅田氏。  
日ロ首脳会談の話題を皮切りに、アメリカのこと、天皇のこと、  
日本の未来と、世界の行く末を占った。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui

## 浅田彰

四島を追うもの一島も得ず。  
日ロ首脳会談は完敗？

浅田 昨年の12月15日に安倍晋三首相が選挙区の山口県でウラジミール・プーチン大統領と日ロ首脳会談を行った。バラク・オバマ米大統領との真珠湾訪問とあわせ、外交で点を稼いで1月に衆議院解散・総選挙に持ち込むつもりかとも言われたけど、蓋を開けてみれば、ロシア側からの譲歩はなし。大統領就任時に1956年日ソ共同宣言での2島引き渡しを認めていたプーチンが、その後「現状は第2次世界大戦の結果であって変更しがたい」って立場が変わっ

た、その前の出発点に戻ることすらできず、4島での共同の経済活動っていう曖昧な妥協がすべて。

田中 翌日に東京へ河岸を変えて行われた会談でも、北方領土の返還や平和条約の締結に関しては道筋すら示されず、文京区の講道館で柔道の試合を見終えるとプーチンはモスクワへ帰ってしまった。

「国民の大半がガッカリしていることを我々は心に刻む必要がある」と述べた自民党の二階俊博幹事長が、「経済問題も大事だが、人間は経済だけで生きているわけではない」と付け加えたのは象徴的。外務省に代わって経済産業省が主導権を握った経緯

# 憂

# 憂国呆談

season 2 VOLUME 80

も踏まえると、「解決の見通しがつかのよ  
うな報道が続いた。国民はこれで北方領土  
問題が解決すると思ったかもしれないけど、  
何の進展もなくのまま終わるなら、いつ  
たいあの前触れは何だったのかということ  
を、日本の外務省当局は主張しなければな  
らない」との発言も深いよね。

浅田 ドナルド・トランプが米大統領にな  
るのを予想できなかったのは仕方ないにせ  
よ、クリミア問題なんかで欧米から経済制  
裁を課されたプーチンも「お友達」のトラ  
ンプが対口強硬路線を変更するとすると日  
本と妥協する必要はなくなる、それがわか  
った段階で日本も戦略を転換し、過剰宣伝  
を止めるべきだった。希望的観測に頼って  
盛り上げるだけ盛り上げた挙げ句期待外れ  
なんて、あまりに子どもじみてる。

田中 「四島を追うもの一島も得ず」と平  
沢勝栄が語ったのが自民党内で評判らしい  
けど、仮に共同で経済活動を行うとしても、  
鉄道改修工事といったシベリア大陸での取  
り組みに最初は集中したほうが、win-winの  
成果が見込めるし、その実績を踏まえて北  
方領土にも日本の技術と資金が必要でしょ、  
と持ち掛けるほうが戦略的だった。特別な  
仕組みの下で4島開発を、と日本側が説明  
した直後に、適用されるのはロシアの法律  
とダメ出しを食らった。

浅田 そう、それはロシアの主権と実効支  
配を認めることにほかならない。

田中 警察権・裁判権・徴税権のいずれも  
ロシアが牛耳るのでは、一日千秋の思いだ  
った旧島民も、投資する日本企業も二の足  
を踏んでしまうよね。なのに、毎日新聞や  
東京新聞は、4島返還への第一歩と称賛す  
る社説を掲載。逆に、普段は政権寄りの産  
経新聞が4島での共同活動は危うい、と明

確に主張していたのも象徴的だった。

浅田 同じ12月27日に安倍はハワイの真珠  
湾でオバマと並んで犠牲者を慰霊。オバマ  
の広島訪問への答礼とも言えるけど、パフ  
オーマンスとしては悪くない———と思っ  
たら同行していた稲田朋美防衛相が帰国翌日  
に靖国神社に参拝して、せっかくの和解ム  
ードをぶちこわす始末。

田中 防衛大臣としての立場よりも「トモ  
ちん」フリークの期待を優先するとは呆れ  
てしまう。歴代首相で最初の真珠湾訪問と  
発表されたけど、実はサンフランシスコ講  
和条約受諾の帰路に吉田茂も立ち寄ってい  
るのが当時の読売新聞で報じられていた。  
現地日本語新聞のハワイ報知が、お祖父



ちゃん岸信介も鳩山一郎も首相在任中に  
真珠湾の太平洋艦隊司令部を同様に訪れて  
いたと伝えて、なあんだったことになった。  
訪問発表前に用意周到に調べておくのが役  
人の心得なのよね。

浅田 アリゾナ記念館を訪れるのは初めて  
だと苦し紛れのコメント(苦笑)。外務省  
はそういう先例にいちばんうるさいはずな  
んで、その頭ごしに官邸主導の思いつき外  
交をやってるっけかな。

田中 一般市民を大量虐殺した広島、長崎  
への原爆投下と真珠湾攻撃では次元が違う  
と日本では捉えがちだけど、アメリカでは  
未だに半数以上の国民が、戦争を終結する  
上で原爆投下は当然だったと考えているか

らね。ましてや、国際法が定める宣戦布告  
をせずに奇襲攻撃したのがパール・ハーバ  
ー。ワシントンの日本大使館員は前夜に中  
華料理店で書記官の送別会を開催して、宣  
戦布告書の提出が間に合わなかった。

浅田 それでアメリカへの宣戦布告が遅れ  
たなら外務省の大失態だけど、誰も処分さ  
れてない。他方、実は軍の圧力で遅らせた  
んだとしたら、非難されても仕方ないよ。  
むろん軍艦や軍事施設への攻撃が主だから  
広島・長崎とはまるで次元が違うけど。

田中 真珠湾に続いて日本の首相は、アジ  
アでの激戦の現場にも訪問すべきだ、とい  
う議論が早晩、起きるだろうね。国交正常  
化60周年で昨年1月にフィリピンを訪れた

今上天皇は年末の会見でも、先の大戦で1  
10万人ものフィリピン国民が亡くなった  
点を踏まえ、「多くのフィリピン人、日本人  
の犠牲のうえに」両国の今日の友好関係が  
築かれたとフィリピン人、日本人の順番で  
語った。こうした目線での相手国への配慮  
は政治や経済のうえでも重要だ。

沖繩の基地問題も、20年越しで実現した  
北部訓練場の部分返還は歓迎すべきだけど、  
東京都よりも小さな面積の沖繩本島に、在  
日米軍施設の7割が依然として集中してい  
る冷厳な事実を認識しておかないと。

浅田 そんななか、米軍の輸送機オスプレ  
イが空中給油中に事故を起こして名護市沖  
の浅瀬に墜落した。

田中 米軍の準機関紙として知られる星条  
旗新聞「スターズ&ストライプス」もFOX  
テレビもBBCも「Osprey crashes off」と  
「墜落」を報じたのに、なんで日本の報道  
機関は揃いも揃って「不時着水」なんだ(苦  
笑)。オスプレイが有益か有害かの「神学  
論争」の前に、目の前の事実「逆レッテ  
ル貼り」する自衛を自ら正さないと、独立  
国以前の植民地ニッポンだ。

浅田 ちなみに、米軍基地に反対する沖繩  
の市民を機動隊員が「土人」と呼び、鶴保  
庸介沖繩北方相が「差別と断定できない」と  
述べた件でも、政府はやはり差別用語と  
一義的に述べることは困難で大臣の訂正や  
謝罪は不要とする答弁書を閣議決定。いか  
にも土人の内閣らしいご立派な見識。  
田中、実るほど頭を垂れる稲穂かな、とい  
う格言こそが日本の美徳なのよね。

### いよいよ始動。 トランプ政権はいかに？

浅田 昨年12月には、カジノを目玉とする  
統合型リゾート(IR)法も成立した。世  
論調査によると約7割がカジノ合法化に反  
対なんだけど。

田中 その拒絶的な数値の高さには正直、  
驚いた。賭け事とは縁がない僕だけど、ヴ  
ェネチアやドイツの温泉保養地バーデン・  
バーデンで訪れたカジノは、賭博場とはか  
け離れた上品な社交場のイメージで好感を  
抱いたよ。でも一般的にはハマコーこと浜  
田幸一元代議員がラスベガスで5億円、大  
王製紙の井川意高元会長がマカオやシンガ  
ポールで105億円も負けたイメージが強  
烈なのだろうね。実は世界100か国以上  
に存在するカジノの総売り上げが約18兆円  
と言われるのに対し、日本全国に1万軒近

いパチンコの売り上げは約23兆円。公営ギャンブルの競馬、競輪、競艇を入れると30兆円近い。今日の対談場所がディスコ『キング&クイーン』として大盛況だった80年代後半のバブル期に、「今度の彼は年商100億円の経営者なの」と自慢する女性が出て、詳しく聞いてみたら、北関東でパチンコ店を3軒か4軒、親の代から持っている人物だった(爆笑)。銀行の夜間金庫に1日の売り上げを入金する直前に強盗に遭うと被害額1000万円と報じられるように、1軒30億円前後なんだね、年間売り上げが。浅田 そのかなりの部分が韓国・朝鮮系とも言われる。

田中 トランプ大統領就任式典実行委員20人のうち3人がラスベガスのカジノ系なのも意味深だ。シェルドン・アデルソン、フイル・ラフィン、ステイブ・ウイン。アデルソンはマカオ、シンガポールでもカジノ・ホテルを経営するラスベガス・サンズの総帥。ラフィンはトランプのラスベガスのホテルの事業パートナー。IR法成立を急いだ理由だと絵解きする向きもいるね。

とはいえ、たった6時間の審議で、しかも質問時間を消化するために般若心経を読んでいるようでは、国民の理解を得るのは難しい。他方でギャンブル依存症を問題視するならば、反社会的勢力が現在も仕切る地下賭博の撲滅も含めて、既存のギャンブルのあり方を抜本的に考えるべきだし、カジノさえできればお金がいっぱい落ちると単純に考えているのは、利益は海外に流出する一方だよ。立派な文化ホールを造れば栄えると90年代の終わりに旧・自治省が音頭を取って地総債Ⅱ地域総合整備事業債でハコモノを全国に林立させたけど閑古鳥が鳴いて、残ったのは借金だけという悪夢を繰り返

返さないようにしないと。実際問題、90年代以降のラスベガスは世界有数の見本市や国際会議の開催地、そして家族連れで楽しめるエンターテインメント都市へと変貌を遂げているからね。

浅田 話がそれるけど、タスマニア島にデヴィッド・ウォルシュってギャンブラーがいて、天才的な数学の能力を駆使して巨万の富を築き、个性的な美術館(Museum of Old and New Art、略してMONA)やワイナリーなんかもある一大リゾートを建設、いまや観光の目玉にもなっている。直島の福武總一郎の対極って感じ？

田中 それは興味深い。そうした突拍子もない才能の持ち主が日本でも企画すれば、海外からも人を呼べるだろうね。

浅田 冒頭の話に戻れば、トランプは「アメリカが世界の警察官として築いてきた世界秩序にはこだわらず、そのつどアメリカ・フアーストでいく」って方針なんだろうけど、主要敵イスラム国(ISIS)を倒すのに当面ロシアと協力すればいいとか、考え方が単純すぎるね。それでISISが壊滅したにせよ、中東に平和が戻るとは思えないし、このままではロシアの術中にはまるだ

天皇を祭り上げる  
保守派は実は天皇の  
人権を認めてない  
わけだけどもね。(浅田)



田中康夫

たなか・やすお ●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は『33年後のなんとなく、クリスタル』。www.nippon-dream.com

け。『The Manchurian Candidate』(影なき狙撃者)(1962年)って映画があって、朝鮮戦争中に満州で共産軍に洗脳された男が米大統領選挙にからむ。リメイク版(クライシス・オブ・アメリカ)2004年)では、湾岸戦争中に多国籍企業に洗脳された男が大統領になりそうになる。それで言うところ、トランプも「Siberian Candidate」(シベリアから来た候補)で、ロシアは自分の駒を大統領にすべくハッキングで選挙に介入した、と。それが本当かどうかはわからないけど、ロシアは欧州でもマリヌ・ル・ペン率いる仏国民戦線をはじめとする極右政党に資金援助をしてもいるんで、確かに気になるね。

田中 就任直前の会見でもトランプは、白人至上主義のブライトバート・ニュースの質問は嬉々として応じる一方、ロシアがトランプを支援し、トランプの恥部も握っているという英国情報機関MI6の元・工作員のレポートの要約が、米国家情報長官からオバマとトランプに報告されたと報じたCNNと、そのレポート全文をアップしたバズフィードの質問は拒否。CNNとバズを一緒くたにして「虚偽ニュース」だと乱

暴なレッテル貼りをした。それでも怯まずに質問し続ける記者の気概は、日本のメディアも爪の垢を煎じて飲んでほしいけどさ。とまれ、御用学者や報道機関も含めた既得権者で構成されてきた「政官業学報」ペンタゴンの、上から目線な現状追認の姿勢に対する反発が、鬼つ子としてのトランプを生み出したわけだ。

浅田 アメリカが軍産複合体に支えられた「帝国」として築いてきた世界秩序にこだわらないってのは、必ずしも悪くない。冷戦終結後NATOを拡大してロシアを追い詰めてきたのは一方的に過ぎるし、中国をパートナーとして認めるのはいいけど台湾の独立を否認する必要はない。冷戦下、ニクソン&キッシンジャーがソ連に対抗するのに「敵の敵」の中国と国交を結んだ、そのとき「中国を選ばずなら台湾は捨てろ」と言われて「中国は一つ」とする上海コミュニケ(1972年)を出したわけだけど、一国二制度で守られてたはずの香港の現状を見ても、中国に併合されたら台湾の民主主義も終わらさうからね。ただ、従来の常識やルールを無視して外交を展開するには、よほど周到な計算が必要で、トランプ政権にそれができるかどうか。

田中 国防長官に指名したジェームズ・マティス元・中央軍司令官は米議会の公聴会で、最も米国の利益を損ねる脅威はロシアだと明言して早くもトランプとの違いが際立っている。他方でイスラエルとの距離の近さは大きな波乱を呼びそうだ。

浅田 ホワイトハウス上級顧問になる娘婿のジャレッド・クシュナーはユダヤ教徒で、娘のイヴァンカも結婚前にユダヤ教に改宗した。キリスト教徒でそこまでやるのは相

当なこと、本気でイスラエル支持なんだ



な。ただ、それでイスラエルの右翼の言いなりになれば、中東和平が遠のくだけ。

ちなみに、さつき安倍首相周辺の思いつき外交を批判したけど、大統領選挙中に一方のヒラリー・クリントンとだけ会ったのはきわめて不適切。トランプの当選後あわててトランプと会談したわけだけど、そのときシュナー夫妻も同席してた。あくまで私人としてのトランプと会っただけだっというんだろうけど、私人の孫正義ならともかく、仮にも首相が次期大統領と会うんだから、私人である娘夫婦の同席は断るべきだったと思うよ。

田中 その意味でも後藤田正晴という知恵袋を中曽根康弘が活用したような懐の深さが、今こそ必要なのだろうな。トランプは、巨額の政治献金をしたL.L.ビーン創業者一族の末裔を称賛し、商品を買おうとツイートしたのが炎上し、不買運動を恐れたL.L.ビーンが声明を出す騒動も起きた。

浅田 トランプはアド・ホックなツイッター攻撃を繰り返して、結果フォードなんかメキシコ工場建設を断念して米国内に投資することになったのを自慢してるけど、大統領は個別問題に介入するんじゃないやなく経済全体をコントロールすべきなんで、それにはもつと体系的にやらないと。

同様に、たとえば上海コミュニケーションにこだわる必要がないとしても、それを否定すれば中国がヒステリーを起こすのは見えてるんで、よほどうまくやってくれないと。

田中 で、その中国は、ダボス会議に国家主席の習近平が初出席して、自由貿易の重要性を説いた。他方でアメリカ大統領のトランプが保護貿易を唱えるんだから、すごい展開の一年になりそう。

浅田 ともあれ、1月にバラク・オバマ大

## 後藤田正晴という 知恵袋を中曽根康弘が 活用した懐の深さが、 今こそ必要。(田中)

統領は8年の任期を全うして退任した。期待を煽り過ぎて幻滅を呼んだ節はあるものの、困難さわかる状況の中でよくやったほうだと思ふよ。退任前にエドワード・スノーデンを特赦にでもすればよかったろうし、そういう大胆なことがほとんどできなかったのは残念だけど、結果的に失敗もスキャンダルも少なかった。対して、トランプ政権は大荒れになるんだろうな。

### どうなる？ 天皇の生前退位。

浅田 天皇の生前退位を論じる有識者会議が、特例法で一代限りの生前退位を認める方向、このままいくと2019年元旦に皇太子が即位して年号が改まることに。暗に皇室典範の改正を求めると天皇の意思は無視され、その場しのぎの対応になりそうだね。そもそも、「天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議」って何なの(苦笑)。座長代理の御厨貴なんてのは偉い人のインタヴューを重ねたからって自分も偉い人みたいに見える舞うようになっただけ。仮にももうさよならちゃんとした「権威」を集めるべきじゃない？



田中 その「有識者」6人の中に宮崎緑も入っているとは(涙)。櫻井よしこを筆頭にヒアリングした「専門家」の多くもいたい、何の専門家なのか首を傾げてしまいうよ。アリバイ的に保阪正康をヒアリング対象に加えていたけど、皇室典範改正を国民の大多数が望んでいる以上、彼だけでなく半藤一利の見解も聴くべきだった。この二人は天皇・皇后夫妻に招かれて幾度か懇談もしている有識者だからね。

全閣僚を呼んで(注)年末恒例の宮中昼食会が、風邪を理由に12月19日当日の朝にキャンセルされた。翌20日に予定どおり行われた天皇誕生日に際しての会見では、8月8日のヴィデオメッセージに関して「この先の在り方、務めについて、ここ数年考えてきたことを内閣とも相談しながら表明しました」と述べている。自らパソコンに向かって原稿を作成する今上天皇の、フランス的な修辞と言えね。時の権力によって将来、恣意的に退位へと持ち込まれるのを防ぎたいの思いも隠喩されている。

浅田 恣意的な退位を防ぐのなら、皇室典範の退位条項に「老齢や病氣等の理由」と入れればいいだけじゃない？

田中 同感だね。本来は皇室典範の改正が筋だけど、退位の恒久制度化に否定的な政府が特例法に固執するなら、少なくとも特例法に関する根拠規定を皇室典範の付則に明記した上で制定すべき。

浅田 そう言えば、昨年10月には三笠宮崇仁親王が100歳で亡くなったけど、なかなかの人物だったね。陸軍士官として中国へ赴任、戦時下でもキリスト教の伝道師がまだ活動しており、共産軍が「長征」と称して逃げながらまだ山の上に畑をつくって頑張っている、その2つのことに衝撃を受け、イエスとマルクスの共通の源泉であるユダヤを研究しなければと、中東の考古学の研究に没頭した。

田中 彼は敗戦の翌年、皇室典範改正を審議していた当時の枢密院に、「天皇の退位が認められないのは内閣の奴隷」と綴った意見書を提出しているんだね。「死」以外の譲位の道を開かないことは新憲法第十八条の「何人も、いかなる奴隷的拘束も受けない」といふ精神に反しはしないか？」と疑問を投げかけている。

浅田 そう、自分で退位できないってのは基本的人権に反するんじゃないか、と。まったくそのとおり。天皇を祭り上げる保守派は実は天皇の人権を認めてないわけだけだね。

田中 三笠宮は、「性格、能力、健康、趣味、嗜好、習癖ありとあらゆるものを国民の前にさらけ出して批判の対象にならねばならぬ」と人間天皇のあり方に関しても指摘している。実に鋭い覚悟だね。その彼を「赤い皇族」などと揶揄し、生前退位に猛反発した櫻井に代表される自称「尊皇派」こそ、ご都合主義な似非「天皇機関説」論者だよ。嘆かわしい。

### 浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。  
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。  
83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラーに。

